

テブコナゾール・トリフロキシストロビン水和剤 ナティーボフロアブル	取扱メーカー： バイエル 原体メーカー： バイエル、バイエル
成分： テブコナゾール〔エルゴステロール生合成阻害剤 PRTR・1種〕…18.2% トリフロキシストロビン〔ストロビルリン系 PRTR・1種〕…8.8%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- 作用機構の異なるE B I剤とQ o I剤の混合剤で、幅広い病害に効果を示す。また、耐性菌管理にも有効。
- かんぎつの主要病害である灰色かび病、そうか病、黒点病に効果を示す。収穫前日まで使用できるため、収穫間際の黒点病防除にも有効。
- 優れた残効性と耐雨性を有する。
- 優れた浸達性と浸透移行性を有する。
- 汚れの心配が少なく、溶けやすいフロアブル剤。

【使用上のポイント】

- かんぎつの開花期の散布により主要病害である灰色かび病、そうか病、黒点病に優れた効果を発揮する。
- 黒点病に対して3週間程度の残効性を有し、散布後の積算雨量200mm程度まで効果が持続する。後期感染型黒点病の防除と同時に貯蔵病害（青かび病）、貯蔵病害（緑かび病）への効果も期待できる。

【薬効・薬害等の注意】

- はくさい、だいこん、いちご、なしに対して薬害を生じるおそれがあるため、付近にある場合はかからないように注意する。

【安全対策上の注意】

- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守る。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って実施する。
 - 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用する。
 - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 蚕に対して影響があるため周辺の桑葉にかからないようにする。
- 眼に対して刺激性があるため、眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- カブレやすい体質の人は取り扱いに十分注意する。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるため、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。



【適用と使用法】.....

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用流量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	テブコナゾールを含 む農薬の総使用回数	トリフロキシストロビン を含む農薬の総使用回数
小 麦	雪腐小粒菌核病	1000 倍	60～ 150 ℓ	根雪前	1 回		3 回以内 (根雪前は 1 回以内、 融雪後は 2 回以内)	3 回以内 (根雪前は 1 回以内、 融雪後は 2 回以内)
	赤かび病			21 日前 まで	2 回以内			
かんきつ	黒点病 貯蔵病害 (緑かび病) 貯蔵病害 (青かび病) 炭疽病 (さび果)	1500 倍	200～ 700 ℓ	前日まで	3 回以内	散布	3 回以内	3 回以内
	そうか病 灰色かび病	1500～ 2000 倍						
	黒点病 貯蔵病害 (緑かび病) 貯蔵病害 (青かび病) 炭疽病 (さび果) そうか病 灰色かび病	24 倍	4～ 6 ℓ			無人 航空 機に よる 散布		
		32 倍	6～ 7.5 ℓ					
		50 倍	7.5～ 15 ℓ					
		100 倍	15～ 30 ℓ					
		200 倍	30～ 50 ℓ					
も も	灰星病 炭疽病 うどんこ病 黒星病	2000 倍	200～ 700 ℓ	2 回以内	散布			
か き	落葉病 炭疽病 灰色かび病 うどんこ病							
う め	黒星病 すす斑病							